



【1回戦】石垣市立石垣中学校(九州：沖縄県) 対 船橋市立七林中学校(関東：千葉県)

七林中、終盤に追いつかれるも、底力を発揮し激闘を制す!!
石垣中、最終回二死から同点に追いつくも、勝ち越せず惜敗!!

【平成29年8月18日(金) KIRISHIMAひむかスタジアム 第2試合】

試合開始 14:48 試合終了 17:43 試合時間 2時間50分(中断5分) 延長9回

チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9			計
石垣	沖縄県	0	0	0	1	0	0	1	0	0			2
七林	千葉県	0	0	0	1	1	0	0	0	1×			3×

球審 [緒方] 塁審(一) [江崎] 塁審(二) [養毛] 塁審(三) [藤澤]
 ◆バッテリー (石) 下地、渡邊一 渡邊、下地 (七) 池田、市川、水口ー菅谷
 ◆二塁打 伊志嶺(石) 高橋、田中(七)
 ◆三塁打
 ◆本塁打

【試合経過】

序盤、石垣中は得点機を作るも、七林中の継投の前に無得点。4回表、石垣中は、4番伊志嶺君が右前安打で出塁後、犠打や四球で一死満塁とし、8番内間君のスライズで先取点を上げた。直後の4回裏、七林中は4番高橋君が左中間二塁打で出塁。この後一死一・三塁とし、7番大柴君の内野ゴロの間に同点とした。続く5回裏、継投した渡邊君から、8番市川君が四球で出塁、その後一死二・三塁の好機を作り、2番上吉原君の内野ゴロの間に勝ち越し点を奪う。粘りを見せる石垣中は7回表、1番渡邊君が死球で出塁、犠打や四球で二死一・二塁とし、5番親里君の右前適時打で同点に追いつき、今大会初の延長戦となった。延長9回裏、七林中は、5番田中君の左中間二塁打に、犠打や四球を絡め一死満塁とし、9番林君が四球を選び、サヨナラ勝ちした。



【粘り強い投球を見せた七林中水口君】



【7回二死から同点打を放つ石垣中親里君】

【監督談話】 石垣市立石垣中学校

兼松 良明 監督

厳しい試合だった。七林中さんが流れをつかませない試合運びをされ、我慢比べだった。無死の走者を失点につなげてしまったことがポイントだと思う。当初のチームからしたら、まさかここまで来れるとは思わなかった。いろいろな人に支えられながら、よくここまで頑張ってくれた。生徒には、お疲れさまと言いたい。

【監督談話】 船橋市立七林中学校

野田 昌宏 監督

初戦だったので、硬さがあつたが、勝つことができてよかった。ボール球を振らず、ランナーをためることができたのがよかった。また、チャンスをものにできたことが勝因だと思う。石垣中さんは、アウトコースの打撃が凄かった。投手二人とも素晴らしい投球でした。今後は、試合の主導権を握れる戦いをしていきたい。

石垣	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
② 渡邊 翔也	2	1	1	0	0	3	0	0
⑨ 砂川 将吾	2	0	0	0	1	2	0	0
① 下地寛太郎	5	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 伊志嶺拓磨	4	1	2	0	0	1	0	0
⑦ 親里 大翔	3	0	1	0	1	1	2	0
③ 比嘉 久人	4	0	0	0	0	1	0	0
⑤ 松川 涼翔	4	0	0	0	0	1	0	1
⑥ 内間敬太郎	1	0	0	1	1	2	0	0
④ 亀川 優	2	0	0	0	0	0	0	0
H4 上江洲伶生	1	0	0	0	0	1	0	1
計	28	2	4	1	3	12	2	2

七林	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
④1 水口 太貴	4	0	1	0	0	0	1	2
⑥ 上吉原 歩	4	0	2	1	0	0	0	0
② 菅谷真之介	2	0	0	0	2	0	0	0
③ 高橋 凌	4	1	1	0	0	0	0	1
⑧ 田中 利空	3	1	1	0	1	0	0	0
⑦ 堀江 康太	2	0	0	0	1	1	0	0
⑤ 大柴 理央	3	0	1	1	0	1	0	0
① 池田 唯人	0	0	0	0	0	0	0	0
14 市川日南太	2	1	1	0	0	2	0	1
⑨ 林 駿佑	2	0	0	1	1	1	0	1
計	26	3	7	3	5	5	1	5

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
下地寛太郎	4回	16	69	3	1	3	1
渡邊 翔也	4回 1/3	20	87	4	4	2	2

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
池田 唯人	1回	4	18	0	1	0	0
市川日南太	1回 1/3	7	29	0	3	0	0
水口 太貴	6回 2/3	32	111	4	8	2	2

